



Coffee Grinder

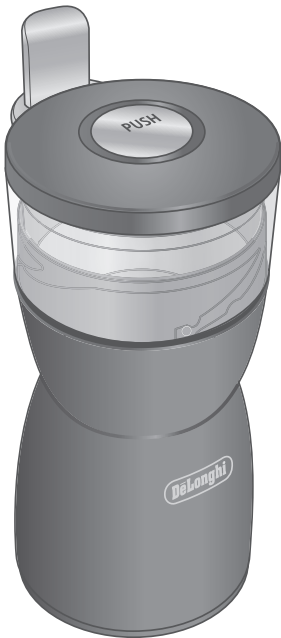
デロンギ
カッター式コーヒーグラインダー

家庭用
型式番号

KG40J

取扱説明書

保証書付



もくじ

保証書	2
各部のなまえ	3
使いかた	4
安全上のご注意	5
仕様	6
お手入れ	7
故障かな	7
アフターサービスについて	8

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にお使いいただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
この取扱説明書は保証書を添付しておりますので、大切に保管してください。
本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

保証書

ご販売店様へ、※印欄は必ずご記入ください。

持 込 修 理

製品名：デロンギ カッター式コーヒーグラインダー		型式番号：KG40J	
お客様	ご氏名：	様	※店名・住所・TEL：
	TEL：		
	ご住所：〒		
		販売店	印
※お買い上げ日： 年 月 日		保証期間：お買い上げ日より1年間	保証対象：本体

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社サービスセンターに直接ご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
 - ヘ. 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のデロンギ・ジャパンサービスセンターにお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■修理メモ

デロンギ・ジャパン株式会社 サービスセンター

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9 安田倉庫 (株) 内 4 号ビル
TEL. 0120-804-280 ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更することがありますのでご了承ください。

2

各部のなまえ

●使用前に保護シートや粘着テープをはがしてください。

ホッパー

コーヒー豆を入れます。

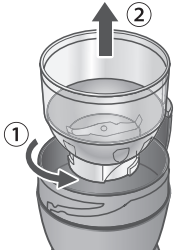
最大で「MAX」の線まで



カッター
直接接触しないでください。
(けがの原因)

【取りはずしかた】

ホッパーを反時計回りに回し (①)、持ち上げてください (②)。



【取り付けかた】

ホッパーを本体に入れ、時計回りに回して固定してください。

ホッパーふた

【開けたか】
反時計回りに回してください。



【閉めたか】

ホッパーふたが止まるまで、時計回りに回してください。

注意

- ホッパーやホッパーふたを取りはずすときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

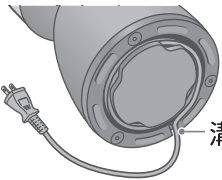
クリーニングブラシ
本体に収納できます。

本体

電源プラグ

電源コード

【本体底面】



電源コードを巻き取って収納できます。
ご使用の際は、電源コードをすべて本体から引き出してください。(火災の原因)

使いかた

- 本製品は、実際に工場で1台1台コーヒー豆を使った試験を行って出荷されています。試験で使用したコーヒー粉が本体内部や挽き刃に付着したり、コーヒー臭が残ったりしていることがありますが、ご了承ください。

- ホッパーにコーヒー豆を入れる
 - 必要な量を入れてください。一般的なレギュラーコーヒー1杯あたり10g前後が目安です。
- ホッパーふたを閉める
 - ホッパーふたが確実に閉まっていないと、スイッチが入りません。
- 電源プラグをコンセントに差し込み、ホッパーふたを下方向に押し込む
 - ここを押す
 - 注意
 - 1分（定格時間）以上連続して使用しないでください。
 - コーヒー豆を入れずに空回しをしないでください。(故障の原因)
 - 押している間、運転します。
 - 下表を目安に、お好みの粒度になるまで押してください。
- 終わったら電源プラグを抜き、ホッパーふたを開け、ホッパーを本体から取りはずして、コーヒー粉を取り出す
 - 注意
 - 再度使用するときは必ず10分以上本体を休ませてから使用してください。(故障の原因)

豆量	粗挽き	中挽き	中細挽き
30g	15 秒	20 秒	30 秒
60g	20 秒	30 秒	45 秒

- 様子を見ながら、お好みの粒度に調整してください。

均一に挽くコツ

ホッパーふたを押したり、手を離したりして間欠運転してください。
コーヒー粉が片寄ったときは、ホッパーふたから手を離して運転を止め、本体をゆすって均等にならしてから再度運転してください。

4

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。

**警告**

「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

**注意**

「軽傷を負う可能性、または物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

**警告**

**禁止**

- **定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使う**
(火災の原因)
- **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
(火災の原因)
- 取り付けの悪いコンセントは使わないでください。
- **電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く**
(火災の原因)
- **電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持つ**
(火災・感電の原因)
- **異常・故障時には直ちに使用を中止する**
(火災・感電・やけどの原因)
- ＜異常・故障例＞
 - ・電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - ・コードに傷が付いたり、通電しなかったりする
 - ・異常な音やにおいがする
 - ・本体に破損や変形がある

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店、または当社サービスセンターへ点検・修理を依頼してください。

**禁止**

- **分解・改造・修理をしない**
(火災・感電・やけどの原因)
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
(感電の原因)
- **次のような場所では使用しない**
(火災・けが・感電の原因)
 - ・火気や高温部の近く
 - ・熱いものの上やぬれたものの上
 - ・不安定な場所や敷物の上
 - ・屋外、風呂場など水がかかったり、湿気の多いところ
- **電源プラグ・電源コードを破損させない**
(火災・感電の原因)
 - ・傷付けたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない
 - ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
 - ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
 - ・高温部に近づけたり、水につけたり、水をかけたりしない
- **電源コードを収納したまま使用しない**
(火災の原因)

**警告**

**禁止**

- **子供など取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児に手の届くところで使わない**
(火災・感電・やけど・けがの原因)
- **ホッパーの中へ手を入れない**
カッターに直接手を触れない
(カッターでけがの原因)

**禁止**

- **ホッパーに異物を入れない**
(けがの原因)
特にお子様にご注意ください。
- **コーヒー豆を挽く以外の用途に使用しない**
(火災・感電の原因)

**注意**

**禁止**

- **長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
(火災・感電の原因)
- **ホッパーふたが確実に閉まっていることを確認してから、スイッチを入れる**
(けがの原因)
- **カッターの回転が止まってから、ホッパーふたを開ける**
(けがの原因)
- **お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行う**
(けがの原因)

**禁止**

- **他製品の部品や付属品を組み合わせず使わない**
(火災・感電・けがの原因)
- **本体に水をかけない**
(火災・感電の原因)
 - ・水をかけたり、水につけたり、水洗いしたりしない

誤って水をこぼしてしまった場合はすぐに電源プラグをコンセントから抜き、当社サービスセンターへ相談してください。

仕様

型式番号	KG40J	質量 (約)	0.9kg
電圧／周波数	交流 100V 50 / 60Hz	ホッパー最大容量	80g
消費電力	140 W	原産国	中国
定格時間	1 分		
外形寸法 (約)	幅 110 × 奥行 125 × 高さ 250 (mm)		

当社 Web サイトで
デロンギの製品を紹介しています。
以下の URL、または QR コードからご覧ください。
【URL】 <http://www.delonghi.co.jp/products>

その他デロンギ製品はこちら


【QR コード】

お手入れ

- ベンジン・シンナー・アルコール・研磨剤・漂白剤は、使わないでください。
(傷が付いたり、変色したりする原因)
- たわし類・メラミンスポンジは、使わないでください。
(傷が付く原因)
- 食器洗い機・食器乾燥機は使わないでください。
(変形する原因)

水洗いできないもの

- 本体
- ホッパー

本体

乾いたやわらかい布で拭く

ホッパー

1. 本体から取りはずす (3 ページ)
2. 付属のクリーニングブラシで余分なコーヒー粉を取り除く

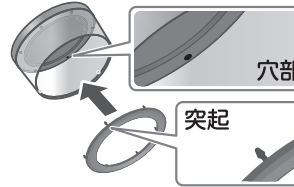


- カッターには刃が付いていますので、直接触れないようにしてください。
(けがの原因)
- ホッパーは水に浸けないでください。
(故障の原因)

ホッパーふた

1. ホッパーふたからパッキンを取りはずしてから、台所用中性洗剤を付けたスポンジで洗う
2. 水でよくすすぎ、自然乾燥させてパッキンをホッパーふたに取り付ける

- ホッパーふたの穴部 (6 カ所) にパッキンの突起 (6 カ所) をはめ込んでください。



穴部

突起

故障かな？

症状	確認すること	対処のしかた
スイッチが入らない	ホッパーふたは確実に閉まっていますか？	ホッパーふたを正しくホッパーに取り付けてください。(3 ページ)
挽きむらがある	コーヒー粉が片寄っていませんか？	本体をゆすって均等にならし、再度スイッチを入れてください。
	「MAX」の線より多くコーヒー豆を入れていませんか？	「MAX」の線より多くコーヒー豆を入れないでください。
コーヒー粉が固まる	深煎りなど油分が多い豆を長時間挽いていませんか？	間欠的にふたを押すなど、様子を見ながら挽いてください。

7

アフターサービスについて

1) 使用中に異常 (★) が生じた場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、7 ページ「故障かな？」を調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター (下記参照) にご相談ください。

＜★以下のような場合には、点検および修理が必要です＞

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・本体に水などの液体をこぼした

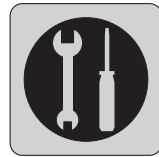
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2) 万一、故障／損傷した場合は
保証書に記載されている販売店に、1. お買い上げ日 2. 製品名と型式番号 3. 故障の状況 を連絡のうえ、修理を依頼してください。
なお、当社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモと、保証期間内の場合は、保証書を商品パッケージ (梱包箱) に同封してください。
※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ (下記参照) にてご確認ください。

3) 保証期間中 (1 年) は、保証書に記載されているものについては、無料で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有料で修理いたします。

4) 補修用性能部品の保有期間について
当社では、この コーヒーグラインダー の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に 5 年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5) まごころ点検のおすすめ



長い期間で使いいただくために、専門技術者による点検 (お預かり) をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、当社サービスセンターまでお問い合わせください。
※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

お買い上げ日

年

月

日

6) デロンギ再資源化システムについて
ご不用になった製品は、下記の要領に従い、当社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。



送料について：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担 (元払い) となります。あらかじめご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱 (元箱) に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ (下記参照) にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 17:00)

コールセンター

TEL. 0120-804-280 / FAX. 045-450-3291

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9 安田倉庫 (株) 内 4 号ビル

ホームページでのお問い合わせ (URL) <http://www.delonghi.co.jp/support>

8

130719c1_KG40J_A3.indd 2

13.7.19 5:35:05 PM